

## 第14回 警視庁・SDA共催安全運転競技大会学科競技解説(参加者51名)

属紙第2

No.	誤答数	誤答率	摘 要
1	6	11.8%	常識だと思われるが、それでも間違える者がいる。
2	13	25.5%	右左折する場合の基準の「30メートル手前」が頭にあるので、誤ったと思われる。
3	11	21.6%	道路交通標識が理解されていない。
4	1	2.0%	よく理解できている。
5	6	11.8%	理解できていない者が6名いた。
6	23	45.1%	原動機付自転車の積載物の幅が荷台の幅+0.3メートルまで、はみだし幅が0.15メートルまでということが理解できていない。
7	12	23.5%	施行令第10条に書かれており、難題であったと思われる。
8	2	3.9%	よく理解できている。
9	35	68.6%	「駐停車」で引っかかった者が多かった。
10	20	39.2%	これはよく理解しておかなければならない。
11	1	2.0%	よく理解できている。
12	7	13.7%	理解できていない者が7名いたのは、安全上問題である。
13	8	15.7%	8名も理解できていない者がいたのは問題である。
14	34	66.7%	酒気帯び運転の罰則の詳細が依然として明確に記憶されていない。昨年は正解の問題であったが、誤答率30.6%であった。
15	2	3.9%	これを理解できていない者が2名いたのは、安全上問題である。

注:全問正解者は2名、誤答数の最高は9で1名、平均誤答数は3.5であった(昨年は4.0)。警視庁交通部によると問題を難しくされたそうなので、選手がよく勉強していると言える。

(文責:村川)